

2016年8月 会社の雰囲気を1W^{7分}明るくするコミュレポ

皆さん、こんにちは。私は、コミュニケーションについての気づきを毎月1回、振り返ることにしています。せっかくなので日頃お世話になっている皆さんにもシェアできればと思いこのようなレポートを記述することにしました。ご笑読頂ければ幸いです。

丹羽/佐之

親子遊びが苦手な私の救世主！？

私は知育玩具や絵本に興味があり、今まで大量に購入し失敗も数限りなくしてきましたが先日、ベスト3に入るものを見つけ購入しました。iPadの知育ゲームは腐るほどありますが、これはiPadにタッチするものではありません。iPadのカメラが反射鏡を通じて机の上を感知し、人が直に机の上でモノを動かすゲームです。その認識力も瞬時で、ストレスを感じさせません。つまり、ボードゲームとiPadがスムーズに連動したような商品でデジタルとアナログが融合した玩具です。



例えば上から落ちてくる玉が落ちないように紙に線を引いたり、モノを置いて標的に当たるようにするNEWTON。アイデアを膨らませて競い合えるため、子供の発想に感心します。また赤、青チームに分かれて、出てきた写真を見て単語の該当スペルを置きあって競い合うWORDS。そして、撮影した写真がスケッチ風に映し出されて、それを紙に模写できたりもします。全てiPadに触ることなく、紙や机の上で遊びます。

例えば、WORDSを親子で行う時の我が家の熱狂。

娘「パパ、何この大きい眼鏡、早く早くスペル書いて～」

私「GOGGLES（と紙に書いて）、さぁスタート」

娘「G、G、ジーがない。どこどこ・・・」

（そのうち下の息子がアルファベットカードを勝手に触りだし、怒り狂う娘）

という感じで、娘は「オスモやりたい」と私が帰宅するなり言う夢中ぶりです。（我が家ではOSMOは私の所有物で、子供が勝手に触られないようにしています）OSMOは2013年にできたばかりのUSベンチャーが開発した商品で、シンプルだけど奥が深いです。VAK（動かす、聞く、見る）を使った知育玩具で、先にお伝えしたNEWTONは考えることを促進し、WORDSは覚えることを自然に促進します。

このOSMOの活用、色々アイデアが湧いてきます。歯科医院での親子教室の余興として（または最初に興味を引く題材として）、ホテルやショッピングモールでのお子さんを預かるキッズルームとイメージが広がります。子供にとってすぐに興味が持て、自然に周りとのコミュニケーションが深まるためです。

しかし現在、日本では並行輸入でしか購入（価格は1万円強）できず、商品は日本語版もないため、英語版だけです。（AMAZONに在庫あれば、購入できます）日本にも広まるような予感もします、子供との遊びがマンネリしてる、苦手という方は、あるいは医院など子供が出入りする会社でご活用してはいかがでしょうか。